

電源立地地域対策交付金により造成した基金の公表

令和2年3月末現在

| | |
|--------------------|---|
| 基金の名称 | 上水道重要給水施設等管路耐震化基金 |
| 令和元年度基金造成額（交付金相当額） | 322,028,000円（322,028,000円） |
| 令和元年度末残高（交付金相当額） | 322,028,000円（322,028,000円） |
| 基金事業の概要 | 水道施設の内、重要給水施設管路（行政拠点・医療施設・避難所等の給水に関連する管路）及び老朽化により緊急性の高い管路の耐震化を早急に取り組むため、本基金を造成。 |
| 基金の処分期間 | 基金造成後4年以内 |
| 基金事業の目標 | 自然災害等による被災時に、できる限り安定した給水を確保することで、町民の安心・安全な生活の早期復興を可能にすることを目標とする。 |

| | |
|--------------------|---|
| 基金の名称 | 伊方町電源立地地域対策交付金公共用施設維持運営基金 |
| 令和元年度基金造成額（交付金相当額） | — |
| 令和元年度末残高（交付金相当額） | 1,614,831,851円（1,614,831,851円） |
| 基金事業の概要 | 町内の公共用施設を維持運営するために必要な人件費、光熱水費等の経費に充当するため、本基金を造成。 |
| 基金の処分期間 | 基金造成後5年以内 |
| 基金事業の目標 | 町内学校施設や保育所施設、体育施設、生涯学習施設等の公共用施設にかかる運営経費に充当することにより、施設の円滑な維持運営に資することを目標とする。 |

| | |
|--------------------|---|
| 基金の名称 | 伊方町電源立地促進対策交付金施設維持基金 |
| 令和元年度基金造成額（交付金相当額） | — |
| 令和元年度末残高（交付金相当額） | 512,515,009円（512,515,009円） |
| 基金事業の概要 | 旧電源立地促進対策交付金で整備した公共用施設について、災害や老朽化等の事由によりその機能を十分に発揮できなくなった場合や現状のまま放置すれば老朽化、陳腐化等によりその機能を十分に発揮できなくなる恐れがある場合に、当該施設を原形に復するために必要な補修または当該施設と一体的に整備した備品の更新若しくは修繕により低下した施設の価値を回復するための事業にかかる経費に充当するため、本基金を造成。 |
| 基金の処分期間 | 施設が存続する期間 |
| 基金事業の目標 | 災害や老朽化等によりその機能を十分に発揮できなくなった、または、そのおそれのある公共用施設を修繕・更新し、原形に復旧させることにより当該施設の機能低下を防止し、利用者の利便性向上を図ることを目標とする。 |

| | |
|--------------------|--|
| 基金の名称 | 伊方町電源立地地域対策交付金施設維持補修基金 |
| 令和元年度基金造成額（交付金相当額） | — |
| 令和元年度末残高（交付金相当額） | 555,735,551円（555,735,551円） |
| 基金事業の概要 | 電源立地地域対策交付金で整備した公共用施設について、災害や老朽化等の事由によりその機能を十分に発揮できなくなった場合や現状のまま放置すれば老朽化、陳腐化等によりその機能を十分に発揮できなくなる恐れがある場合に、当該施設を原形に復するために必要な補修または当該施設と一体的に整備した備品の更新若しくは修繕により低下した施設の価値を回復するための事業にかかる経費に充当するため、本基金を造成。 |
| 基金の処分期間 | 施設が存続する期間 |
| 基金事業の目標 | 災害や老朽化等によりその機能を十分に発揮できなくなった、または、そのおそれのある公共用施設を修繕・更新し、原形に復旧させることにより当該施設の機能低下を防止し、利用者の利便性向上を図ることを目標とする。 |